

真夏のような暑さの日がありましたね。お変わりありませんか？

◇グリーンケア Side by Side 「さばさ」 ㄱ のメールマガジン第 5 号をお届けします。

目次-----

- 1) スタッフのつぶやき
- 2) グリーン体験談
- 3) イベントのご案内
- 4) メルマガについて
- 5) 風と虹の診療所設立準備委員会について

-
- 1) スタッフのつぶやき
-

木本さんの体験談が一区切りつきました。5年後、10年後に、もう一度、語っていただけたらなあと思っています。

その時はどんな語りをされるのかとても楽しみです。

この体験談は、文章でなくてもインタビューでもかまいません。私たちと一緒に文章に紡いでいく作業が大切なことだと思うのです。

語ることはおしゃべりとは違います。そして、その辛い体験に寄り添って物語に耳を傾けることがグリーンケアの一つの形だと思います。

グループケアの「つどい」での語りがしんどいなと感じる方は、体験を言葉に紡ぐことから始められてはいかがでしょうか？

2) グリーフ体験談

【母のグリーフ、わたしのグリーフ ～父の死と向き合えるまで～】

元山 美奈子さん

(さばさ グリーフケア担当)

約10年前に65歳で亡くなった父のことを思い出すと、必ず脳裏によみがえってくる記憶があります。

死の間際、父は息も絶え絶えで、その瞬間がもう遠くないことは明らかでしたが、それでもまだ懸命に呼吸を保っていました。そんな中、父の顎が力なく垂れ下がったことがありました。

それを見た母が、思いがけない対処をしました。タオルで顎を下から包み、それを頭上で括ったのです（おたふく風邪に罹った子どもを想像していただければ近いでしょうか）。

後で母に聞くと、「顎が垂れ下がったまま関節が硬直してしまったら、恰好悪いから」と言いました。なんと母は、もう父がこと切れてしまったと思い、その後のことを心配して、懸命に死に顔を整える準備をしていたのです。

わたしは、両親とは離れて暮らしていました。父が病に倒れてからはなるべく両親のもとを訪れるよう心がけはしましたが、父を失ったことで受けた衝撃は、長年連れ添って最期まで同居していた母とは比べものにならなかったと思います。それに、子どもというのは、心のどこかで「親は自分より先に死ぬものだ」と本能的に悟っているものですよね。

ですから、父の死にまつわるグリーフ体験となると、わたしは自分のことより母のことが強く印象に残っています。

母は、本当に父のことが好きで、父を頼りにしていました。世間の相場で言えば老夫婦というものは、妻のほうがしっかりしていて、夫に先立たれてもそれなりに明るくたくましく余生を楽しむけれど、妻に先立たれた夫は途端に憔悴してしまう、という例が多いように感じますが、わたしの両親は逆。

父に先立たれた母は、どうやって生きていくのだろう。それを案じた私は、父の死後、母を支えるという「役割」を果たさねばならない、という使命感を抱きました。このことが、ともすれば自分自身のグリーフ体験をなおざりにしてしまったのかも知れません。

それはさておき、その母のグリーフは、意外な形で訪れました。

(続く)

3) イベントの案内 (予告なく変更することがあります)

■講演会&ワークショップ

・2018年7月14日

当たり前だった日常が失われた日～グリーフ (悲嘆) ケアと出会って～ 【さばさ】

演者：木本努さん

日時：7月14日 (土曜日) 14:00～16:30

場所：エル・大阪 (大阪府立労働センター)

参加費：3,000円 (当日頂戴致します。)

詳細は風と虹の診療所設立準備委員会の Facebook ページをご覧ください。

<https://www.facebook.com/events/447731729012391/>

・2018年11月11日

最期のときの過ごし方～マザーテレサが大切にした愛と死の価値感～ 【わんまいる】

演者：千葉茂樹監督 堂園晴彦医師

日時：11月11日 (土) 午後

場所：大阪産業創造館

参加費：後日掲載

・2019年11月 救急の現場にて (仮題)

演者：富岡譲二医師

■さばさのつどい 定満有紀 元山美奈子

日時：2018年10月13日 (土曜日) 午後

場所：ドーンセンター (一般財団法人 大阪府男女共同参画・青少年センター)

参加費：後日掲載

4) メルマガについて

■発行 不定期発行です。

■転送など

当メルマガは、グリーフケアがお役に立ちそうな方、そして、グリーフケアに興味がある方へ、転送していただければ嬉しいです。抜粋・転載はご遠慮くださいませ。

■登録・解除

当メルマガは下記よりご登録することができます。

<https://www.kazetoniji-clinic.jp/mailmag/acc.cgi?id=1514348464186643>

ご登録していただくと、御礼のメールが配信されます。PDF ファイル付きです。

迷惑メールに入ってしまうことがありますので、ご確認ください。

登録時に提供していただいた氏名・住所などの情報は、風と虹の診療所の設立に関し、主に統計をとるために利用させていただきます。

また、下記より解除することもできます。

<https://www.kazetoniji-clinic.jp/mailmag/acc.cgi?id=1514348464186643&m=d>

■バックナンバー

風と虹の診療所設立準備委員会の HP の「メールマガジン」からご覧いただけます。

■大切な人を病気で亡くされた方の体験談を募集しています。

ご協力いただける場合は「風と虹の診療所設立準備委員会」の HP にある

「お問い合わせ」からご連絡ください。

(当方で編集・校正させていただくことがあることを御了承ください。)

5) 風と虹の診療所設立準備委員会について

グリーフケア Side by Side 愛称「さばさ」と

生きるための死への準備教育 (death education) 生老病死 愛称「わんまいる」は

風と虹の診療所設立準備委員会がプロデュースしています。

風と虹の診療所設立準備委員会

<https://www.kazetoniji-clinic.jp/>

Facebook ページ

<https://www.facebook.com/kazetonijiclinic/>